



OSIPPは大阪大学大学院国際公共政策研究科(Osaka School of International Public Policy)の略称です。

軍縮、平和回復、人間の安全保障、
日米同盟を4本柱に

国際安全保障政策研究センター発足

大会の準備事務局などの機能も果たす。

「国際安全保障政策研究センター(Center for International Security Studies and Policy: CISSP)」が4月からOSIPP内の研究機関として発足した。OSIPPでは、国際公共政策という枠組みの下で多様な研究がなされているが、その中でも「特に国際安全保障分野を対象を特化し、それを一つの傘のもとにおくことで強固な活動の基盤を築き、共同研究や政策提言、人材教育を行なう」ことを目指す。

CISSPの活動はそのロゴマークに象徴される。軍縮・不拡散(黒澤満教授=センター長)、平和回復支援(星野俊也教授=センター主任研究員)、日米同盟関係(ロバート・エルドリッチ助教授=センター主任研究員)、人間の安全保障(栗栖薫子助教授=セ

ンター主任研究員)という4本の支柱(括弧内は担当者)が国際安全保障研究という大屋根を支えるという構図。

すでに、「わが国の小型武器への取組みに関する調査」(外務省からの委託研究)や「沖縄に関する特別合同委員会(SACO)プロジェクト(米戦略国際問題研究所と提携)などのパイロット・プロジェクトが実施されている。また、8月に大阪市で開催の「国連軍縮大阪会議」にも全面協力する。自衛隊との共同事業「国際安全保障ワークショップ(WINS)」のOSIPP側事務局や11月にOSIPPで開催される「国際安全保障学会」年次

外務省・国連などの委託研究に着手
学生もスリランカ・カンボジアに派遣

院生も同センターを通じてインターン派遣やプロジェクトへの参加をしており、山根達郎氏(D3)は、日本の医療NGOであるAMDA(アムダ)が行う「スリランカ医療和平プロジェクト」の一員としてスリランカで活動中。また、木田泰光氏(M1)は、日本小型武器対策支援チームの一員としてプノンペンで活躍している。

同センターのメールアドレスは以下の通り。cisssp@osipp.osaka-u.ac.jp

アドバイザーボード8回会合 高い受験倍率、学位授与率など評価

学内外の各界有識者がOSIPPの活動実態を評価し、そのあり方について幅広い提言を行う「OSIPPアドバイザーボード委員会」の第8回会合が6月26日、OSIPP棟で開かれた。

今回から新委員に松下正幸・松下電器産業株式会社代表取締役副会長が加わった。議長を務める金森順次郎(国際高等研究所長(大阪大学前総長)の進行のもと、まず野村美明研究科長がOSIPPの現況を報告。続いて高阪章評議員より、大学院再編の動きの中で公共政策系の学科やコースが他大学で相次いで設置されるため競争が激しくなる旨の説明があった。

委員からは、受験倍率、学生の充率率および学位授与率の高さを前向きに評価するかたわら、「専門知識があるのはよいが、人間的な魅力に欠けては世の中に出て使えないものにならない。入試の時にこの点も考慮すべき」といった指摘もあった。

OSIPPアドバイザーボード委員(敬称略)(03年6月現在)

- アレクサンダー・アルマゾフ(在大阪・神戸アメリカ合衆国総領事) 金森順次郎(国際高等研究所長)
- 桐村 英一郎(朝日新聞社論説副主幹)
- 篠崎 由紀子(株式会社都市生活研究所代表取締役)
- 新保 智(日本郵政公社近畿支社長)
- 中谷 秀敏(大阪ガス株式会社代表取締役専務取締役)
- 西澤 信善(神戸大学大学院国際協力研究科長)
- 鳩山 由紀夫(民主党常任幹事)
- バーバラ・ヒルダー(駐大阪オーストラリア副総領事)
- 藤原 安次(大阪府商工労働部長)
- 前原 金一(株式会社住友生命総合研究所会長)
- 松下 正幸(松下電器産業株式会社代表取締役副会長)
- 宮原 秀夫(大阪大学大学院情報科学研究科長)
- ヨハネス・プライジンガー(在大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事)
- 王 泰平(中華人民共和国駐大阪総領事)
- (改選中) OSIPP 同窓会「動心会」会長